令和　7年度　　上　半期　指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生･生涯学習推進課／文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	□　公募　　☑　非公募		
料金制	☑　使用料　　□　利用料金　　□　料金徴収なし		
指定管理委託料（年額）	235,121,000円（令和7年度）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て　延床面積　11，555㎡（併設施設含む） 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		R07 上半期	R06 下半期	R06 上半期	R05 下半期	R05 上半期
利用者数（単位：人）		77,047	81,145	61,331	73,492	59,377
各室稼働状況（%）	大研修室	79.7	78.8	80.2	78.9	75.7
	中研修室	85.9	85.9	85.9	90.6	87.0
	研修室50	79.1	93.5	78.5	91.2	81.9
	研修室30	91.0	93.5	90.4	90.6	90.4
	小研修室1	96.6	97.1	96.0	95.3	94.4
	小研修室2	91.5	89.4	86.4	90.6	85.9
	小研修室3	89.8	92.9	88.1	91.2	92.1
	小研修室4	92.7	97.1	93.2	93.6	91.5
	和室研修室1	14.7	30.6	23.7	23.4	13.0
	和室研修室2	82.5	84.7	77.4	78.4	73.4
	音楽スタジオ大	87.0	84.7	85.3	78.9	73.4
	音楽スタジオ小1	89.3	88.2	80.8	83.6	72.9
	音楽スタジオ小2	57.1	53.5	59.3	0.0	0.0
	パソコンルーム	76.3	70.6	72.9	74.9	71.8
	クラフト室	53.7	77.6	67.2	66.1	61.6

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者 サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオ、SNSなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・ 提案事業	1．生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2．男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3．市民芸術文化振興業務 ①参加・参画の促進　～市民一人ひとり、誰もが主役の場づくり～ ②文化芸術を担う人材の育成、顕彰　～人づくりと活躍の場づくり～ ③文化芸術施設の充実　～誰もが使いやすい拠点づくり～ ④文化財・伝統文化の継承や活用　～「岐阜」を伝える絆づくり～ ⑤文化芸術を生かしたまちの活性化　～活力に溢れた地域づくり～ ⑥協働による文化芸術の推進　～みんなで文化芸術を育てる社会づくり～	**1．生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務** ①ハートフルレクチャー5講座開催、372人受講。ITコラボレーター会と協働のパソコン講座第1、2期開催、166人受講。 ②ボランティア講座1講座開催、72人受講。パソコン指導者養成講座1講座開催、85人受講。市民自主講座開講支援事業19人受講。市民自主講座19講座開講。 ③地域貢献事業2事業開催、にぎわい創出事業2事業を開催。生涯学習・ボランティア通信誌の発行（Vol.99、100） ④市民活動ルームを運営（延べ2,528人利用）。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営（600件の相談、85件のボランティアコーディネート）。広報ぎふボランティア通信5回掲載。 **2．男女共同参画推進業務** ①わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座を開催、延べ71人受講。 ②HP、インスタグラム、岐阜市女性センターYouTubeチャンネル等による情報発信、男女共同参画関連図書や男女共同参画週間企画、岐阜市防災備蓄資機材の展示を実施。 ③ハートフルネットぎふ例会の開催や、男女共同参画週間事業にて講演会を開催。 ④ 面接・電話相談を実施、延べ相談件数556件(面接相談：137件、電話相談：419件)。あんしんつながりステーションを開設、延べ相談件数156件（面接相談：143件、メール相談：13件） **3．市民芸術文化振興業務** ・岐阜市民文化祭の開催【①、②、③、④】 市民文化祭（美術展覧会・芸術祭・文芸祭）の開催に向けての準備・調整。美術展覧会では、その開催を告知する企画展を7月13日から8月4日まで開催した。 ・岐阜市芸術文化協会との連携【①、②、④、⑥】 リレートーク、まちかどコンサート、広報紙の発行（7月）や岐阜子ども文化クラブ（2日間）を実施。 ・文化事業助成（岐阜市民芸術文化・スポーツ基金）【②、⑤、⑥】 上期4件、下期10件を選定。 ・岐阜市芸術文化奨励賞【②、⑥】 下半期に実施予定。
施設管理	**日常点検（保全）業務** ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検（自主点検） ⑦不審者、危険物（自主点検） **法定点検業務** ①消防設備点検（年2回） ②空気環境測定（年6回） ③飲料水水質検査（残留塩素測定）（週1回） 〃　（16・13項目）（年2回） 〃　（12項目）（年1回） ④貯水槽清掃、消毒（年1回） ⑤排水設備清掃（汚水槽含む）（年1回） ⑥ネズミ・昆虫等防除（年2回） ⑦自家用電気工作物保安管理（年6回） ⑧昇降機保守点検（年1回） ⑨自動車用エレベーター保守点検（年1回） ⑩建築設備点検（年1回） ⑪建築物点検（3年に1回）	**日常点検（保全）業務** ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし **法定点検業務** ①7/29に実施 ②5/21、7/16、9/17に実施 ③毎週水曜日に実施 7/23に実施 9/17に実施 ④下半期に実施 ⑤下半期に実施 ⑥9/12～26に実施 ⑦5/20、7/16、9/30に実施 ⑧下半期に実施 ⑨下半期に実施 ⑩下半期に実施 ⑪下半期に実施
	定期点検業務 ①昇降機保守点検（年12回） ②自動車用エレベーター保守点検（年12回） ③空調設備（総合）保守点検（年2回） ④空調設備（GHP）保守点検（年1回） ⑤自動扉保守点検（年4回） ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検（年1回） ⑦駐車場料金精算設備保守点検（年3回） ⑧パソコン及び周辺機器保守点検（年4回）	**定期点検業務** ①保全点検：4/30、7/29に実施 リモート点検：毎月実施 ②4/30、5/27、6/24、7/29、8/26、9/30に実施 ③6/24に実施 ④6/24に実施 ⑤6/24、9/30に実施 ⑥下半期に実施 ⑦7/29に実施 ⑧5/22、7/29、9/30に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合個所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・ 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報に関する法律及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどをしている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間：4/12～18、5/13～19、6/4～10、7/18～24、8/2～8、9/8～14 アンケート総数：296件
利用者アンケートの実施結果	○利用した部屋は 大研修室　4.4%、中研修室　8.8%、研修室5O　6.8%、研修室3O　10.1%、小研修室1　14.2%、小研修室2　9.8%、 小研修室3 11.1%、小研修室4　10.1%、和室研修室1　3.7%、和室研修室2　6.8%、音楽スタジオ大　4.4%、 音楽スタジオ小1 3.0%、音楽スタジオ小2　3.4%、クラフト室　2.7%、パソコンルーム　0.7% ○スタッフの対応について 満足　73.6%、やや満足　17.2%、ふつう　8.8%、やや不満　0.3%、不満　0.0% ○施設や設備の管理状況（整理整頓、壊れた個所の有無など） 満足　72.0%、やや満足　20.3%、ふつう　6.4%、やや不満　0.7%、不満　0.7% ○全体的な満足度 満足　72.6%、やや満足　19.3%、ふつう　7.1%、やや不満　1.0%、不満　0.0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・利用時間前に参加者が待ち合わせができる広いスペースがあると良いと思う。（小研修室2） →現在、総合受付前と交流サロン横に休憩スペースとして椅子を設置しております。こちらをご利用ください。 なお、利用時間の15分前には、準備等の時間を考慮し、お部屋の鍵をお渡ししております。 ・長机の荷物置きのパイプが外れている。（中研修室） →ご迷惑をおかけしました。 すぐに確認し、外れていたパイプを簡易補修しました。 今後、施設備品の点検を強化していきます。 ・駐車場の昇降機の故障で、早めに来たのに駐車場を探して時間を30分ロスしてしまった。電話をして“昭和コンクリート駅西駐車場”を教えてもらいましたが、事前に案内の電話をくれるとかしてもらえたら、ありがたかったです。（小研修室4） →団体の代表者にお電話で駐車場のご案内をさせていただいておりましたが、行き届かず申し訳ございません。 また、当館の駐車場前でも係員が利用可能な駐車場を案内しております。 ・プロジェクターの足が壊れていたが、代用のものが見当たらなかった。（研修室5O） →代用の高さ調整台は、研修室に備え付けのプロジェクター台の上に設置しております。 案内が不十分で迷惑をおかけいたしました。 ・ホワイトボードイレイサーが壊れている。（小研修室3） →ご不便をおかけいたしました。 すぐに確認し、新しいイレイサーと交換しました。 今後、施設備品の点検を強化していきます。 また、お気づきの点がございましたら、スタッフまでお知らせください。 ・鍵がかけにくい。（中研修室） →ご不便をお掛けして申し訳ございません。 早速、職員で点検し簡易修繕を行いました。 今後は、点検を強化し快適な環境を提供できるよう努めます ・駐車場が復旧されていないので、遠いから不便です。（小研修室4） →現在、再開に向け、復旧工事を実施しています。 ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。 →10/1より駐車場の利用を再開しました

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能（アンケート）等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	S	S	S
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	A	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	S	S	S
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組めているか	S	S	S
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組めているか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	S	S	S
		施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	S	S	S
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民協働生活部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアーG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	S	S
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組みに対する評価

●生涯学習／女性／センター

指定管理仕様書・事業計画書及び市の方針に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設の運営・管理と事業展開を行った。

＜施設管理＞

- 利用者からの**要望等を基に、改善できるところはないか検討**し、以下のような改善を図った。

・音楽スタジオ　各種設備・備品のメンテナンスの強化

音楽スタジオの稼働率が上がったことに伴い、機材の不調も増えている。定期的なメンテナンスを実施し、快適に利用できる環境を整備した。（メンテナンス3回、ピアノ調律1回）

・映像を用いた広報PRができる環境整備

当館の主催事業等の広報手段の一つとして、**映像を用いたPRが常時できるような専用スペースを交流サロン横に整備**した。募集中の主催講座の関連動画や市民文化祭のPR動画だけでなく、岐阜空襲80年の動画等を流した。

- 定期点検の他、日常的に施設・設備の点検を行い、**危険箇所や要修繕箇所の早期発見**と、**迅速な対応を実施**した。
- 光熱水料費が高騰する中、利用者への協力を求め、無理のない範囲内で、**日常的に省エネ対策に取り組んだ。**

□ 電気設備：上半期使用量　284,963kWh（昨年度比91.2%）

必要のない場所をこまめに消灯した。
契約電力を抑えるため、機械換気の起動時間の分散化し、**特定の時間帯に電力消費が集中することを避けた。**

□ 空調（ガス）設備：上半期使用量 33,834㎥（昨年度比 78.0％）

効率的に熱交換を行うために室外機の洗浄を実施した。
より効率的に共有スペースを冷やすことができるよう、過去の経験に基づき、**その日の外気温・湿度に合わせて設定温度の変更や間引き運転を実施**した。

- 利用者の安全・安心を最優先とした上で、業務の効率化や調達コストの最適化、省エネ対策推進を図り、**可能な限り経費縮減に努めた。**
- 各種安全マニュアルに基づき、安全・安心な施設運営に努めた。今期も事故等が発生した際は、生涯学習センターに情報を集約し、全館一丸となって迅速に対応した。

＜リスク対応＞

- 令和7年2月に発生した階段からの転倒事故事案を受け、4月に**ハートフルスクエアーG4施設の全職員を対象に緊急時対応訓練を実施**した。**今回は、2月の事故事案を再現した上で、場面ごとに行動検証しながら行う実践的な訓練とした。**マニュアルに基づき、緊急時における迅速・的確な応急処置・緊急連絡・救急要請を行うための役割や対応について全職員が再確認した。
その他にも、毎年実施している避難訓練やカーエレベーターの閉じ込め救出訓練などの緊急時の対応訓練も年度当初に施し、**新たに配属になった職員を含め、いざというときに対応できる体制を整えた。**

□上記のとおり体制を整えたことにより、事故発生時には、迅速・的確な対応をとることができた。
【対応事例】
・駐車場入庫口での衝突事故
・西階段での転倒事故
・1F西女子トイレ　個室内での意識消失者の救出・救急要請　　他

- 防犯対策として、防犯カメラでの監視や警備員の巡回に加え、職員が日常的に館内を巡回した。また、**不審者情報や迷惑行為等をハートフルスクエアーG全体で共有する**とともに、**警察とも連携を図ることで防犯対策を強化した。**

□ハートフルスクエアーG全体での情報共有のもと、下記のような事例に対応した。
【対応事例】
・女子トイレでの盗撮疑い行為/女子トイレへの男性の侵入
・大声で怒鳴る/暴言を吐く等の迷惑行為
・館内通路での言い争い　　・自由通路での喫煙等　　・便器へ異物の投入　　他

- 7月5日に発生した駐車場入庫口での衝突事故に伴い、約3カ月間駐車場の利用を中止したが、利用者へ理解を求め、できる限りの対応を実施した。
【対応内容】
・ホームページや館内掲示で周知した。
・施設利用団体代表者に対し電話で、3階駐車場が利用できないことを説明し、減免対象の昭和コンクリート駅西駐車場の案内をした。
・講師や関係者業者用臨時駐車場として借用した臨時駐車場の管理を行った。

- "応急手当協力事業所"登録施設として、職員がAEDを的確に使用できるよう普通救急救命講習を受講し、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を行った。
- 危機管理の上で、係長以上の職員を必ず1人は配置し緊急事態に備えた。
- 個人情報保護・情報セキュリティ研修を受け、個人情報保護担当者を配置し、情報漏えいや不適切な情報発信が起きないよう**個人情報管理の徹底**を図った.
- 暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。

＜その他＞

- 生涯学習/女性/センターの主催講座及び市民自主講座、文化振興事業は、岐阜市の**「長良川大学」講座に位置づけられており**、令和7年度上半期には**生涯学習：18講座、市民自主講座：19講座、女性センター：2講座、文化振興事業：17講座・4公演・3事業（継続中を含む）を実施**した。
- **多様な場面において、積極的に関係機関・団体との連携**を図った。

【他施設で実施】

・周辺施設である昭和コンクリート駅西駐車場の掲示板を活用した広報（主催事業ポスター掲示）
・隣接するASTY岐阜との広報協力（主催事業ポスター・チラシ設置）
・市内施設（ドリームシアター岐阜、各青少年会館、コミュニティセンター、中央図書館）での文芸祭作品募集案内と小中学生の部の各部門上位3賞の作品展示
・各青少年会館での中高生対象ボランティア講座の募集案内と昨年度の様子を紹介したポスターの展示

【当館で実施】

・市民文化祭PRブースの設置（PR動画専用モニター設置、パンフレット等配架）
・岐阜市立女子短期大学の授業作品展の開催場所の提供
・埋蔵文化財調査事務所のパネル展示「発掘された岐阜城～「宮殿」と称された信長公居館の姿～」の開催
・ねんりんピック岐阜2025の広報協力（ポスター展示）
・岐阜市少年自然の家　写真展「岐阜市三輪地区の写真」の開催
・岐阜市平和資料室　パネル展示「岐阜空襲80年」の開催
・岐阜市危機管理課との共催展示・防災啓発「岐阜市の防災備蓄資材の展示」の開催

- 館内の**にぎわい創出の一環**として、中央階段前の吹き抜け部分に**季節やイベントに合わせた装飾を行った。**特に、今期は**七夕のミニイベント**として、短冊に願い事を書いて**笹を飾り付ける催しを実施**し、親子連れだけでなく大人の方にも楽しんでいただけた。
- Instagramを活用したイベント紹介や展示紹介等を積極的に行い、**タイムリーな情報発信**に努めた。
- JR岐阜駅周辺施設と連携し、「小学生のための社会に役立つお仕事体験」として**夏休み期間中に小学生12名を受入れ、公共施設の役割を学ぶ機会を設けた。**
- 快適な公共空間を提供するため**アダプト・プログラム**に参加し、ハートフルスクエアーG全体で施設周辺の美化に努めた。

今期の取組みに対する評価

＜実施事業＞

●生涯学習センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術推進基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、岐阜市における生涯学習の啓発・推進に努めた。
生涯学習センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、生涯学習、文化振興各係の講座は「長良川大学」講座として実施した。

◇生涯学習係

「令和7年度事業計画書」「第3次岐阜市生涯学習基本計画」に基づいた業務を遂行するにあたり、「学習機会の充実」「人材育成」「生涯学習拠点施設としての機能の充実」「生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援」の4項目を柱に、**「生涯学習によるまちづくり」の推進役の育成と、誰もが「生涯活躍」できる社会の構築を目指すため、今期は以下の点に注力し取り組んだ。**

□ **話題性のあるテーマや季節に合わせた講座を企画・実施**
例：8月　戦後80年 →「おはなしライブ　ミライへ伝えたいぎふの記憶～戦後80年によせて～」
7月　駅前再開発 →「岐阜駅前繊維問屋街の形成史−戦後を生きた人とまち−」
5月　ホタルの出現時期 →「光る発光生物の謎に迫る！！～白亜紀の闇夜をホタルは照らしたか～」
9月　秋の行楽・秋の植物観察 →「命輝く植物たち～身の周りの植物から山菜、野草まで～」

□ **講座と連動する展示の開催（展示をきっかけに興味関心をもち、講座の受講につながる工夫）**
例：7月講座「岐阜駅前繊維問屋街の形成史−戦後を生きた人とまち−」
→図書館分館とも共催し、全館を使った展示を実施　※好評につき、講座終了後も展示期間延長
8月講座「おはなしライブ　ミライへ伝えたいぎふの記憶～戦後80年によせて～」
→平和資料室所蔵の岐阜空襲に関するパネル等を館内壁面に展示するとともに平和資料室への誘導

□ **関係機関・団体との相乗効果による情報発信**
例：図書館分館と連携した展示
平和資料室と連携した展示
各青少年会館や岐阜市ジュニアリーダークラブと協力した講座募集
岐阜市立女子短期大学と連携した展示
FC岐阜や市民スポーツ課と連携した施設PR
岐阜市民文化祭と連携した展示
一般財団法人岐阜市未来のまちづくり財団と協力した映像展示

□ **講座のサテライト会場の設置**
例：7月 中高生のボランティア講座「ここから始まる！わたしの社会貢献（全2回）」
→講演会：参加者の保護者や関係機関職員が受講できるように、別部屋にサテライト会場を設けた。

・生涯学習へのきっかけと現代的課題・地域課題の解決に向けた学習機会の充実

講座事業において、学習機会の充実のため、「岐阜駅前繊維問屋街の地域史」といった**地域課題の解決に向けた題材**や「戦後80年」という**話題性のあるテーマだけでなく**、「発光生物」「山菜・野草」など**季節に合わせた題材**を実施することで、**市民の多様なニーズに対応し、高い満足度をえることができた。**また、講義形式以外の講座として、歌・落語・語りを取り入れたライブ形式の講座を企画・実施した。

・ハートフルレクチャー

「光る生物の謎に迫る！！～白亜紀の闇夜をホタルは照らしたか～」
ミミズやホタルなどの発光する身近な生き物をテーマに、最新の研究成果を学べる機会を提供した。

「美濃・飛騨に残る源平ゆかりの地～『平家物語』を巡る旅～」
「平家物語」という著名な軍記物語と、県内の身近な地域との繋がりを読み解き、地域に残る史跡を再考する機会を提供した。

「岐阜駅前繊維問屋街の形成史−戦後を生きた人とまち−」
近年再開発が進む岐阜駅前繊維問屋街の成り立ちを学ぶとともに、全国有数の繊維問屋街の建築様式や地域風俗の特徴を知り、地域の魅力を再発見する機会を提供した。また、にぎわい創出事業　展示「岐阜駅前繊維問屋街博物館 駅でめぐる、1945から2025。」と連動し、多角的な学びの場となるよう提案した。

「おはなしライブ ミライへ伝えたいぎふの記憶～終戦80年によせて～」
「終戦80年」というタイミングに合わせ「ミライへ伝えたいぎふの記憶」をテーマに、ライブ形式の歌・落語・語りを通じて、シビックプライドの醸成を図った。

「命輝く植物たち～身の周りの植物から山菜、薬草まで～」
身近に観察できる植物や希少な山菜や薬草について知ることで、自然の多様性や面白さを再発見するきっかけを提供した。

・パソコン講座（第1期・第2期）

パソコン技術を習得した市民による**「岐阜ITコラボレーター会」と協働**でパソコン講座（11講座77回）を実施し、ワードやエクセルなどの基礎的な知識や技能を学ぶ場を提供した。その他に参加者の要望を受け、個別の質問に応じる「IT相談会」を2回実施した。

・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の育成

・市民自主講座の開講支援
令和7年度は**47名の市民講師が講座を開設**し、その内**19講座の開講**に繋げた。（R6年度50講座開設・23講座開講）

・「開講講師説明会」を実施するとともに、個別相談に応じ講師の不安を解消するなどきめ細やかな対応を心がけた。

・申込方法を往復はがき・窓口申込に加えて、今年度から新たに応募フォームを導入し、申込者の利便性を高めるとともに、データ集約の簡素化や業務の効率化を図った。

・新たな広報手段として、**岐阜市公式LINEトーク配信**を取り入れた。

・ボランティア講座
（中学生、高校生対象）「ここからはじまる！わたしの社会貢献（全2回）」
中学生、高校生を対象に、講演会「大学での社会貢献活動」と体験活動「子ども食堂で居場所づくり」など8種を提供し、岐阜市の**ボランティアの底上げ**に繋げた。

・応募者増加のため以下の点に取り組んだことで、**昨年の4倍以上の応募**があった。
（応募人数/定員：R7年度 82人/40人、R6年度20人/40人）

・高校生の受講を増やすため、高校生が興味をもちやすいような体験活動を新たに取り入れた。
・対象の**中高生の利用が多い青少年会館5館で、昨年度の活動の様子がわかるような募集案内ポスターを掲示**した。
・**岐阜市ジュニアリーダークラブの定例会の中で、講座の紹介**をする機会を設け、直接的な広報を実施した。
（2回実施）

・講座終了後の参加者へのフォローとして、本人へ体験活動をした団体からのコメントを伝えるだけでなく、**今年度から新たに、本人と保護者の同意を得た上で所属学校へ活動中の姿や団体からのコメントを報告**した。

・パソコン指導者養成講座
「パソコン指導カレベルアップ！（全7回）」
地域で活動しているパソコン指導者や、これから指導を始めようとしている人を対象に、ワード・エクセル・パワーポイントの指導の仕方、セキュリティ対策の知識、指導者としての心構えなどを学ぶ場を提供し、**市民講師としての活動を支援**した。

今期の取組みに対する評価	**・生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信** **・地域貢献事業** **「FC岐阜　岐阜市ホームタウンデー」** **FC岐阜や市民スポーツ課と協力**し、チームのエンブレムが入った応援缶バッチを制作するブースを出店し、地元のイベントを盛り上げた。 **「市民芸術祭・演劇の部 『ぎふ演劇シーズン2025キックオフイベント』」** 演劇シーズンの周知と**文化芸術に親しむ市民の裾野を広げる**ため、パネル展示と参加劇団によるトークイベントをぎふメディアコスモスで開催した。 **・にぎわい創出事業** 今年度は、講座事業と連動する展示の他、**関係機関や団体と連携した展示**を積極的に企画・実施した。 **「岐阜駅前繊維問屋街博物館 駅でめぐる、1945から2025。」展示** 講座と連動した展示を実施。**岐阜市立図書館分館と連携**し、ファッションライブラリーも含めた館内全体を使った一体展示を実施した。関心度が高い地域のテーマであることから大きな反響があり、期間を延長して実施した。また、**一般財団法人 岐阜市未来のまちづくり財団の協力**を得て、動画を用いた紹介も実施した。 **「第77回岐阜市美術展覧会 企画展『岐阜で活躍する美術家たち』」展示** 文化芸術に親しむ市民の裾野を広げ、生涯学習としての文化芸術への“興味関心”を高めるため、**文化振興係（岐阜市美術展実行委員会）と連携**した展示を行った。 **「岐阜市市民文化祭（美術展・文芸祭・芸術祭）の事業紹介」展示** **文化振興係（岐阜市民文化祭実行委員会）と連携**し、市民文化祭全体としての認知度向上を図る取り組みとして、PR動画の上映や各事業のチラシ・ポスターの展示を行った。 **「平和資料室　岐阜空襲80年パネル展示」展示** 講座と連動した展示を実施。平和資料室所蔵の岐阜空襲80年に関連するパネルを館内壁面に展示をするとともに、**平和資料室の本展示への誘導を図った。** **「紙の魅力を伝えるエコロジーペーパーによる お茶パッケージ展『個性を形に』」展示** **岐阜市立女子短期大学と連携**し、デザイン環境学科の学生による授業の成果を発表する作品展を実施した。 **・インターネット等を利用した情報発信・情報提供** **岐阜市公式LINEトーク配信を通じて**、市民自主講座や市民講師養成講座の情報発信・情報提供に努めた。 **・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援** ・生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、きめ細やかな対応に心がけ、昨年度の上期と比べ、**来館での相談件数は昨年度比113%（531件→600件）、コーディネート件数は昨年度比116%（73件→85件）に増加した。** ・**岐阜市地域情報システム「まなバンク」を運営**し、市民に対して**岐阜市内で活動しているサークルや市民活動団体、市民講師の情報を公開**し、生涯学習やボランティアなどの情報発信に努めた。 ・「生涯学習・ボランティア通信誌」vol.99、vol.100を発行し、**「ボランティア情報」や「ボランティア活動レポート」を充実**することで、**地域で活躍するボランティアの情報や姿を広く共有**した。 ・**社会貢献活動をしている個人を取材**し、広報ぎふボランティア通信欄で紹介することで、地域の社会貢献や福祉活動への関心を高めた。（上半期 5名紹介） ・生涯学習・ボランティア相談担当職員のスキルアップのため、**新たに職員1名がボランティアコーディネーション力3級を取得**した。また「岐阜市ボランティア・NPO窓口連絡会」に参加するとともに、日常から市内にボランティア窓口をもつ施設・団体と交流を行い、円滑に協力できる体制を整えた。

今期の取組みに対する評価

◇文化振興係

・岐阜市民文化祭の開催

岐阜市民文化祭では、芸術祭、文芸祭、美術展の3つの事業が、**それぞれの特色を生かしつつも連携しながら事業を展開している。**職員は**他の展覧会や公演にも積極的に参加**し、**最新のアイデアやトレンドを取り入れる**ことで、**質の高い文化体験**を市民に提供している。

昨年度に引き続き、**市民文化祭としての認知度向上を図る取り組み**を継続的に実施している。

・市民文化祭全体の周知を目的として、**ハートフルスクエアーGにおいてPR動画の上映や各事業のチラシ・ポスターの企画展示**を実施した。

・近隣施設である**昭和コンクリート駅西駐車場の協力**により、道路沿いのショーウィンドウに市民文化祭関連のチラシ・ポスターを一括して掲示した。

・**芸術祭公演会場**や**美術展会場において、市民文化祭各事業のチラシ設置やポスター掲示を行い、市民文化祭全体のPRを行った。**

▪ 岐阜市民芸術祭

・洋楽の部　新進演奏家コンサート公開オーディションの参加者募集にあたり、**Logoフォームを導入**。**データ集約の簡素化や業務効率化**を図るとともに、申込みの利便性を高めた。申込みは昨年度に比べ、**9組増加**した。

・演劇の部実施事業「ぎふ演劇シーズン2025」には、部会所属の6劇団に加え、**公募により1劇団が参加**した。

・演劇シーズンの周知と文化芸術に親しむ市民の裾野を広げるため、キックオフイベントとしてパネル展示と参加劇団によるトークイベントをぎふメディアコスモスで開催した。

・邦楽の部では、公演時に**市民文化祭各事業のポスター掲示**やチラシ配布を行い、下期に実施する事業をPRするとともに**市民文化祭としての周知**を図った。

・各公演の**チケット購入を促進**するため、コロナ禍で取りやめていた文化会館(文化センター・ぎふしんフォーラム)での**チケット委託販売を再開**した。(9月邦楽公演での販売実績：5枚)

▪ 岐阜市文芸祭

・一般の部に加え、小・中学生の部では、気軽に応募ができるように**新たに Logoフォームでの応募も導入**した。

・昨年度、小・中学生の部において作品展に合わせ市内施設での開催案内ポスターと上位三賞の掲示を行い、事業のPRを行った。今年度は、**新たに作品募集期間においても、募集案内ポスターと昨年度の上位三賞の掲示**を行い、 応募の促進を図った。

【掲示施設】 一般の部：コミュニティセンター8か所、中央図書館と連携。
小・中学生の部：青少年会館5館、ドリームシアター岐阜、少年自然の家、中央図書館、西部コミュニティセンターと連携。(募集期間前の夏休みより各施設に掲示)

・一般の部において、**初の試みとして岐阜市公式LINEトーク配信**で募集のPRを行った。結果として、一般の部では国民文化祭の開催があった昨年とは比較できないが、**一昨年度比で786点応募が増加**した。

▪ 岐阜市美術展覧会

・3回目となる企画展を実施。昨年度の反省を活かし、**ハートフルスクエアーG全館でのPR**やアスティ岐阜、**昭和コンクリート駅西駐車場での掲示、また初の試みとして岐阜市公式LINEトーク配信でPR**を行い、広報活動を強化した。
(延来場者数：16,844人)

・例年実施している関連施設へのDM設置依頼については、より**目に留まりやすい設置方法の案内**や、**専用ラックを作るキットを同封するなど工夫**し、広報力の強化に努めた。

・昨年応募のあった**学校との連携強化**や、**部会員による若年層への働きかけ**も実施。その結果、**若年層でも取り組みやすい洋画・書・グラフィックデザインの3部門で　高校生・学生出品者が計70人 増加**した。

・出品者名簿への広告掲載において、**部会員の働きかけにより新たな企業協賛**を得た。次年度はより多くの協賛が得られるように、各部門の部会員に働きかけていく。

▪ 岐阜市芸術文化協会との連携

岐阜市の芸術文化の創造・発展・保存などへの寄与を目的とする岐阜市芸術文化協会と連携し、各種事業を開催。**市民の芸術文化活動の促進**及び**芸術文化団体との情報交流**により、**新たな協働による芸術文化の振興**に取り組んだ。

▪ 子ども文化クラブ

小・中学生と保護者を対象に、15講座を開講するとともに、「ようこそ！ワクワク♥ドキドキ 夏祭りだぁ～！！ ようかいとあそぼう！」をテーマとした無料ワークショップを開催した。
ワークショップでは、会場を夏祭り会場に見立ててやぐらを設置し、その周囲に墓場をイメージした妖怪のオブジェを配置。割りばしで作る射的、ペーパークラフトの妖怪つり、ヨーヨーつり、うちわ・オリジナル缶バッジ作りなど、子どもたちが楽しみながら参加できる多彩な内容とした。
猛暑の影響で屋内イベントへの関心が高まったこともあり、ワークショップ来場者は**2日間で昨年度を大幅に上回る1,004人**であった。(前年より425人増加)

▪ リレートーク
「食生活とがん」(6月)
がんは日本人の死因トップであるが、部位別でみると増減は一概ではない。参加者は、それが遺伝よりも生活習慣などの環境要因が重要であることを学び、がん予防に有効な食生活について考えた。

「芸術と文化の交錯した先へ-終わりなき箏の旅-」(9月)
「演奏家に大地から伝わる土俗的な文化への敬意がなければ、社会における真の役割を果たすことはできないのではないか」という仮説をもとに、参加者は箏の生演奏を聴きながら、箏を通した様々な演奏活動や二兎との関わりについて学んだ。
机を使用しない内容だったため、**会場は椅子のみの設置とし、参加受入数を増やす工夫**を行った。
出演者の積極的な呼びかけもあり、**参加者は96人と昨年度平均より34人増加**した。

▪ まちかどコンサート
「第1回まちかどコンサート」(8月)
協会会員の岐阜県邦楽三曲会 森壽会 井上規伊子・今尾圭子箏ぐるーぷ、Dance Creation RUKA、声楽とアンサンブルring-link-run(リン・リン・ラン)、音と語りのお話の世界(音語り 火風水＆ダニエル)、男声合唱団 かがりびによる演奏会を開催した。**来場者は延べ715人**となり、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。(昨年平均520人)

▪ 「市文協ニュース」の発行
7月に発行。協会の活動を紹介するとともに市民文化祭等の多様な芸術文化に関する情報を掲載し、広く市民に情報提供を行った。

▪ 自主企画事業の実施

▪ 文化事業助成
上半期に4団体(内1団体は上半期にまたがる令和6年度事業)の活動に助成を実施。下半期には多種多様な14団体の申請に対し、制度の趣旨に沿う事業であるか審査を行い、10団体への助成を決定した。

▪ 芸術文化奨励賞
昨年より行っているハートフルスクエアーGおよび市庁舎に設置のモニターでの受賞者のPR動画上映に加え、**初の試みとしてぎふチャンを通したPR**の準備を進めた。

令和6年度の岐阜市芸術文化奨励賞受賞者による記念展示を、**新たな会場となるG's Dreamにて開催**するため、会場施設や関係機関と連携し、準備を進めた。

令和8年度下半期に加藤栄三・東一記念美術館にて開催を予定している「岐阜市芸術文化奨励賞30周年記念展」の準備を、施設・関係機関との連携を図りながら進めた。

今期の取組みに対する評価

●女性センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画（改定版）」に基づき事業を企画・実施。必要に応じて、所管課と協議を行いながら、岐阜市における男女共同参画社会の啓発・推進に努めた。
女性センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、女性センター主催講座は「長良川大学」講座として実施した。

・学習機能

女性センターの相談事業を通してみえてきた女性の現代的課題の解決に向けた講座を積極的に実施した。

・わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座
「未来に繋がるライフデザイン！～わたしらしい生き方とお金について知ろう～」（3回コース）
長期的な視点で自分自身の人生を主体的に選択していけるよう、**自分を見つめ直し人生の転機をプランニングする機会**を提供した。

・20～70代と幅広い年代層の受講者が集い、講座内のワークショップでは年齢やそれぞれの立場に関係なく**コミュニケーションを深める**ことが出来た。「講座を通して自身の人生を振り返り、改めて自分を好きになるきっかけとなった。」などの感想が寄せられ、**満足度は100%**と大変好評であった。

・交流機能

・男女共同参画週間事業

「伊藤 瑞子さん（MISIAの母）が語る～「育児の共有」から新しい未来へ～」
「育児参画から、『育児の共有』をすることで新しい未来が開かれる」をテーマとした講演会を開催。小児科医として活躍をしながら、3人の子育てに励まれた伊藤瑞子氏を講師として招き、女性の働き方への制約や男性中心型の労働環境を振り返り、これからの社会における**「子育て共有」の大切さ**について広く学び知る場を提供した。

・会場後方には、**男女共同参画や子育てに関する本を設置**し図書の貸出を行うなど、受講者の更なる学びの機会を広げることができた。

・配布資料の中に、当センターの**SNSアカウントのQRコードを掲載**したところ、講演会終了後には**Instagramのフォロワーが6件、Xのフォロワーが3件増加**し、効果的な啓発にもつなげることができた。

・ハートフルネットぎふ例会
男女共同参画についての理解を深めていくため、原則毎月第2木曜日に、女性センターを利用する**20の市民団体**が集い、学習会や団体活動紹介などを行う機会を提供している。

・今期当初に、この例会の目的とあるべき姿を**会員間で積極的に意見交流をすることで共通認識**ができ、今年度から会員主導で運営をしていくことを確認した。

・学習会では、更に深めていきたい分野である**「スポーツ界における多様な性のありかた」**や**「いまどきの地域活動」**と題し、スポーツの歴史の中での男女格差、地域活動における女性の参画について事例をもとに学び、グループワークを通して活発な意見交流を行うことができた。

・女性センターHP内に**登録団体の活動の紹介ページを新たに作成**したことにより、より多くの市民に団体の活動内容を知っていただく機会の提供とすることができた。

・情報機能

・市民への情報発信
Instagramや**X**において**タイムリーな情報発信**を心掛けた。

・窓口開設日や専門相談日を掲載した**毎月のカレンダー画像**を作成し掲載したところInstagramにおいては**複数のユーザーに投稿を保存（ブックマーク）される**など、有益な情報提供を行うことができた。

・女性センターホームページへ**ハートフルネット例会登録団体の活動紹介ページを新たに作成**したことにより、より多くの市民に女性団体の活動内容を知っていただく機会の提供とすることができた。

・**内閣府男女共同参画局**が、ワークライフバランスの取り組みの一環として発行する情報誌**「カエル！ジャパン通信　Vol.240」に、地方公共団体の取り組み事例として、岐阜市女性センターの「男女共同参画週間事業」の情報が取り上げられ**、全国に広く発信する機会を得た。

・初の試みとして、**岐阜市公式LINEトーク配信でPR**を行い、**広報活動を強化**した。

・複合施設の特色を生かした情報発信
各イベントに合わせた啓発活動として、館内への展示を行うとともに、図書館分館内において関連図書の特設コーナーを設けるなど、**ハートフルスクエアーGの特色を生かし**ながら、より広く多角的な情報発信を行った。

・「若年層の性暴力被害予防月間」に関する啓発展示（4月）
2階キュービックギャラリーを利用して、若年層の性暴力被害予防月間にあわせた展示等啓発活動を行い、幅広い世代に向けて情報発信を行うことができた。

・「男女共同参画週間」に併せた関連啓発展示（6月）
6月23日～29日までの「男女共同参画週間」に併せて、関連パネル展示を行った。「令和7年度男女共同参画週間キャッチフレーズポスター」に加えて、男女共同参画週間事業講演会に関連した**「育児・介護休業制度改正」に関するテーマ等**を取り扱い、最新の情報を提供することができた。

・「岐阜市防災備蓄資機材」に関する啓発展示（8月）
市危機管理部危機管理課と連携し、2階交流サロンにおいて、防災トイレや仮設テント、備蓄用品等の展示を行い、防災意識を高めるための情報発信に努めた。

・「アンコンシャス・バイアス」に関する啓発展示（8月）
8月8日の「アンコンシャス・バイアスに気づこう！」の日に併せ、2階PC壁面や展示ボードを利用して、市民協働生活部 男女共生・生涯学習推進課発行の「その子“らしさ”を大切にするために **「アンコンシャス・バイアスってなに？」のパンフレットを机上配架し、誰もが自分ごととして捉えられるよう啓発**展示を実施することができた。
また、展示期間を延長し、「岐阜市文芸祭」の展示とともに双方のPRに努めた。

・相談機能

・相談業務の実施
【電話相談】
必要に応じて、「女性と社会のつながりサポート事業」と連携しながら、より専門的な支援先へ繋げることができている。

・相談業務に従事する職員の基礎知識の向上とメンタルを整えることを目的とし、**外部講師（精神保健福祉士）によるスーパーバイザーを実施**した。

・増加傾向にある精神疾患を抱える相談者への対応に備えるため、「精神障がいや発達障がい等の基礎知識と対応について」学んだ。今後の相談者やリピーターへより一層寄り添った対応ができるよう心がけていく。

【専門相談】
更なる利用率促進を図るため、館内に設置してある**専門相談の案内看板（全4か所）に加え、今期より、女性センター窓口付近に時間ごとの空き情報を記載したホワイトボードを設置**するなどして積極的な情報発信を行った。

前回までの意見の取組み状況	**●所管課の意見** **〈施設管理〉** ● **施設内で事故等が発生した際に、生涯学習センターに情報を集約しつつ、不審者情報や迷惑行為等をハートフルスクエアーG各施設や、警察署とも情報共有し、リスク管理の充実が図られている。今後も、組織として対応できるよう連携体制の構築に努められたい。** ⇒ 令和7年2月に発生した階段からの転倒事故事案を受け、4月に**ハートフルスクエアーG4施設の全職員を対象に緊急時対応訓練を実施**した。今回は、1月の事故事案を再現した上で、場面ごとに行動検証しながら行う実践的な訓練とした。マニュアルに基づき、緊急時における迅速・的確な応急処置・緊急連絡・救急要請を行うための役割や対応について全職員が再確認した。 ⇒ 毎年実施している避難訓練やカーエレベーターの閉じ込め救出訓練などの緊急時の対応訓練も年度当初に施し、**新たに配属になった職員を含め、いざというときに対応できる体制を整えた。** ⇒ 防犯対策として、防犯カメラでの監視や警備員の巡回に加え、職員が日常的に館内を巡回した。また、不審者情報や迷惑行為等をハートフルスクエアーG全体で共有するとともに、警察とも連携を図ることで防犯対策を強化した。 **〈生涯学習業務〉** ● **地域課題の解決に向けた題材から、身近で話題性のある題材まで、幅広い講座事業を実施し、市民のニーズに常に対応する姿勢が見られる。多くの講座で定員以上の応募があり、講座の企画・提案等が評価できる。** ⇒ 引き続き、学びの機会の拡充のため、世間や生涯学習で注目されるテーマを題材とした講座を企画・実施するだけでなく、講座と連動した企画展示も開催した。 ● **市民自主講座の開催が前年度より増え、生涯学習・ボランティア相談コーナーでのコーディネート件数も増加している。今後も、市民の主体的な活動をサポートし、自ら学び、楽しみ、貢献できる環境づくりの推進を期待する。** ⇒ 引き続き、生涯学習・ボランティア活動に係る相談及び活動支援において、市民の主体的な活動をサポートし、活動の充実につながる情報提供に努めた。 ⇒ 市民自主講座については、今年度新たな広報手段として岐阜市公式LINEトーク配信を取り入れたり、申込方法にWEBから申し込める応募フォームを追加するなど、応募者増に向けた取り組みを実施した。 **〈文化振興業務〉** ● **文化振興係：市民文化祭（芸術祭・文芸祭・美術展）全体としては、生涯学習センターにおいてPR動画の上映や企画展示の実施による新たな方法での周知が図られた。新たな取り組みによって、多くの人が文芸に関心を高め気軽に触れられる環境づくりに努めたことが、応募人数等の実績に繋がっていることを評価する。** ⇒ ハートフルスクエアーGにおける**市民文化祭全体のPR展示を強化**したことに加え、**近隣施設である昭和コンクリート駅西駐車場と連携した掲示**を行った。 ⇒ 文芸祭では、一般の部、小・中学生の部ともに**作品募集期間においての市内施設でのPR展示を新たに行い**、募集強化に努めた。 ● **文化振興係：効果的な情報発信を実施しながら、応募等の手続きのDX化を進めるなど、より多くの人に参加してもらえるような工夫により、長い歴史のある市民文化祭がより充実した内容になることを期待する。** ⇒ 芸術祭では、洋楽の部新進演奏家コンサート**公開オーディションの参加者募集にLogoフォームを導入**した。 ⇒ 文芸祭では、一般の部に加え、**小中学生の部においても申込にLogoフォームを導入**した。 **〈女性センター〉** ● **相談事業を通してみえてきた家族に関する相談等の現代的課題の解決に向けた講座を実施することができ、受講者の高い満足度を得ることができたのは評価できる。** ⇒ 今期は、男女共同参画週間事業において、家族の「男女ともに仕事と家庭の両立の実現」をテーマに、「育児参画」から「育児共有」のワードを用いた講演会を開催した。これまでの女性の働き方への制約や男性中心型の労働環境を振り返り、これからの社会における**「子育て共有」の大切さ**について広く学び知る場を提供することができた。 ● **InstagramやXにおいてタイムリーな情報発信をするとともに、毎月の相談窓口開設日や専門相談日を掲載したカレンダー画像を作成し掲載するなどの有益な情報提供を実施した結果、相談件数の増加につなげることができた。** ⇒ 講演会配布資料の中に、当センターのSNSアカウントのQRコードを掲載したところ、講演会終了後には**Instagramのフォロワーが6件、Xのフォロワーが3件増加**し、効果的な啓発にもつなげることができた。 ⇒ 更なる利用率促進を図るため、館内に設置してある**専門相談の案内看板（全4か所）に加え、今期より、女性センター窓口付近に時間ごとの空き情報を記載したホワイトボードを設置**するなどして積極的な情報発信を行った。 ● **「女性と社会のつながりサポート事業」では若年層や高齢者からの相談件数が全体の約26％を占めることから、「エールぎふ」や、「地域包括支援センター」などの関係機関へのスムーズな連携に努めることができ、連携体制が構築されてきていると評価できる。今後も相談者をより適切な支援機関につなげることができるようスキルの向上や、関係機関との更なる連携強化に努められたい。** ⇒ 通信制に通う高校生や大学生など、若年層の女性が訪れるケースが目立ち、「校内の養護教諭」や「エールぎふ」と連携することができた。 今後は、近隣にある通信制高校へ出向き、「女性と社会のつながりサポート事業」のPRに努めていく。 ⇒ 相談業務に従事する職員の基礎知識の向上とメンタルを整えることを目的とし、外部講師（精神保健福祉士）によるスーパーバイザーを実施した。 特に、増加傾向にある精神疾患を抱える相談者への対応に備えるため、「精神障がいや発達障がい等の基礎知識と対応について」学んだことで、今後の相談者や、リピーターへより一層寄り添った対応ができるよう心がけていく。 **●指定管理者評価委員会の意見** **〈生涯学習業務〉** ● **講座について、応募者の多いものは、オンデマンドで見ることができるように、考えていただくのが良いのではないか。** ⇒ 今期は、中高生対象のボランティア講座において、本会場以外に館内にサテライト会場を設け、参加者の保護者や関連施設職員が受講できる環境を整えた。他施設をサテライト会場とする場合は施設との日程調整という課題があるため、引き続き所管課と協議の上、他施設との連携、調整を図り実施に向けて取り組む。 オンデマンドについては、上半期に実施した講座（おはなしライブ）を配信できるよう現在検討中である。 ● **Zoomなどでも実行できるような仕組みにしていくことが必要ではないか。** ⇒ 以前にも所管課との間でも検討に上がったが、受講料の徴収についての課題があり、現時点では実施していないが、実施の是非について、今後再度検討していく。 ● **市民自主講座について、YouTubeで流す等、それが良いかは分からないが、そういったことができれば良い。アーカイブに載せたりするのも、やる方にとっては、面白いかもしれない。** ⇒ 実施の是非も含めて、所管課の意見を聞きながら検討を重ねていきたい。

前回までの意見の取組み状況	**〈文化振興業務〉** **● 作品の展示会は、Webでも作品を見ることができるような、そういう仕組みができるとよい。** ⇒ 美術展においては、以前より市展賞・市長賞をSNSにて公開。またコロナ禍のR4年度より全展示作品を見てもらえるようにFacebookで展覧会の展示風景を公開している。より取り組みを知っていただけるよう、出品者名簿の表表紙にQRコードを記載するなど周知の強化に取り組んだ。 ⇒ 文芸祭でもR6年度より展示風景を公開。ただし、作品集の販売を行っていることから、個々の作品がじっくり見れるような画像は掲載していない。 **● 若い方は、ロゴフォームで応募するという方が、非常に手軽でやりやすい。作品を公開・公表させてもらう等、応募段階で了解いただけるといいのではないか。** ⇒ 美術展と文芸祭は、それぞれの募集要項に入選した作品を主催者が公開・公表をする旨記載。芸術祭洋楽の部における新進演奏家コンサートは、オーディションは公開で行われ、合格者はコンサートの出場権が得られることを要項に記載している。よって全て、公開・公表を前提とした募集であることを了承したうえでの応募となっている。 **〈共通〉** **● アスティ岐阜もオープンし、賑わっているため、アスティ岐阜にも、掲示を置いてもらうのが良い。** ⇒ 以前よりチラシラックを設置させてもらっていることに加え、昨年度はハートフルフェスタや芸術祭のプレイベント、文芸祭の作品展示など施設の催しに合わせ、ポスター・看板を設置させてもらった。今年度も同様に協力を求め、各事業のPRを行っていく。

今後の取り組み	**生涯学習センター** ・生涯学習拠点施設としての機能を活かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。下半期でも、「介助犬」や「健康」、「和食」といった**世間や生涯学習で注目されるテーマ**も含め、講座を企画している。 ・生涯学習・ボランティア活動に係る相談及び活動支援において、団体や個人の声に耳を傾け、**活動の充実に繋がる情報の提供**に努める。 ・また、継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、**中間支援組織としての機能の拡充**に努める。また、**地域活動情報システム「まなパンク」を活用**して、**地域人材の活性化**に努める。 ・研修や講座に積極的に参加するなど**職員一人一人の資質向上を図り、生涯学習・ボランティア相談業務および活動支援の充実**に努める。 ・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材を育成するため、「市民講師養成講座」と「市民自主講座」を実施し、**市民がこれまで培ってきた知識や技術、能力を活かして活動する講師の養成と活躍機会の充実**を図る。 ・**障がいの有無に係わらない学びの場を提供**するため、対話を重視したサービスの提供を実施するとともに、音声認識アプリ、音声ガイドなどを取り入れた講座の充実を図る。 ・より多くの市民に講座を受講していただくため、本会場以外にも**市内の別施設にサテライト会場を設け、講座のライブ配信を実施**する。 ・上半期に実施した講座（おはなしライブ）について、**講座内容をオンデマンド配信**ができるよう、講師と協議した上で実施について検討していく。 ・市民文化祭全体において、部会メンバー等への連絡にメールやLINEを活用し、**更なるDX化**に努める。 ・**岐阜市とイオン株式会社やマーサ21ショッピングセンターとの包括連携協定が締結されることを生か**し、チラシやポスターの設置や、作品展示など新たな層への周知開拓を図る。 ・文芸祭:ぎふメディアコスモスでの開催に向け、施設との連携を図りながら取り組む。また会場が変更されることに対し、**事前告知や、ハートフルスクエアーGにおいても上位賞の展示を並行する**などし、より多くの来場につながるよう取り組む。 ・**美術展:**昨年より来場者アンケートにおけるLogoフォームを導入したが、**出品者名簿へのQRコード掲載や、会場内での掲示等によって、Web回答率の上昇を図る**。 ・令和6年度の岐阜市芸術文化奨励賞受賞者による**記念展示をG's Dreamで行い**、市内を拠点に活躍する芸術家を紹介し、市民の文化芸術への興味関心を高める機会の創出に取り組む。また過年度受賞者にハートフルフェスタ2026への出展を依頼するなど**周知の強化、及び継続的な関係構築**を図っていく。 ・令和8年度下半期に加藤栄三・東一記念美術館にて開催を予定している「岐阜市芸術文化奨励賞30周年記念展」の準備を、引き続き施設・関係機関との連携を図りながら進めていく。 **女性センター** ・男女共同参画拠点施設として、令和4年度に改定された「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、**男女共同参画社会の実現を目指した事業展開**を図るため、女性センター窓口への来訪を促し、顔の見えるセンターを構築する。 ・**「サード・プレイス」（第3の居場所）**として、会話を楽しみ、心と身体がリラックスできる時間と空間（居場所）を提供する。 ・相談機能を生かし、見えてきた**女性の現代的課題**に焦点をあてた学習事業の展開を図る。 ・様々な課題や困難を複合的に抱える女性を適切な機関につなげるために、**関係機関とケース検討会を実施して**連携強化に努める。また、より一層解決に繋げられるよう、支援先などの情報収集を行い、継続的にネットワーク体制を構築していく。

●所管課の意見

生涯学習センター
・生涯学習によるまちづくり進行役の育成や誰もが生涯活躍できる社会の構築を目指し、話題性のあるテーマや季節に合わせた講座事業を実施し、講座のサテライト会場の設置にも取り組むなど、市民のニーズに常に対応する姿勢が見られる。
・利用者アンケートを毎月実施し、要望等に基づいて、利用者目線で改善点の検討を行っており、評価できる。
・施設の日常点検及び休館日の定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために実施されており、高いレベルで対応できていると思われる。
・事故により施設駐車場が長期にわたり使用できなくなる事案に対して、利用者への説明や講師駐車場への柔軟な対応などを実施し、また施設内における迷惑行為等をハートフルスクエアーG各施設や、警察署とも情報共有し、リスク管理の充実が図られている。今後も、組織として対応できるよう連携体制の構築に努められたい。

女性センター
・「わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座」では20代から70代という幅広い年代からの受講者が参加され、講座内でのワークショップでも年代を超えてコミュニケーションを深めることができ、受講後のアンケートでは満足度が100％であったことは評価できる。市民の方のニーズを的確につかむことができていると思われる。
・SNSによるタイムリーな情報発信をする中で、窓口開設日や専門相談日を掲載した毎月のカレンダー画像を作成・掲載し、更なる利用率促進を図るため、館内に設置してある専門相談の案内看板（全4か所）に加え、今期より女性センター窓口付近に時間ごとの空き情報を記載したホワイトボードを設置するなどの積極的な情報発信は評価できる。
・「女性と社会のつながりサポート事業」では、昨年に引き続き通信制に通う高校生や大学生といった若年層の相談者が多いことから、エールぎふとの連携や、学校へのPRへの意欲など、相談者の傾向に沿って対応されている。また、精神疾患を抱えた相談者が多いことから、そういった相談者に対応するための研修の受講や、職員側のメンタル面のケアについても配慮がなされている。

文化振興係
文化振興業務は、市民及び文化芸術団体との協働により事業が進められており、上期は主に市民文化祭の開催に向けて準備をした。
・芸術祭では、新進演奏家コンサート公開オーディションの参加者募集にオンライン申込を導入。申込者全員がオンラインで申込みを行い、昨年度比7組が増加した。
・文芸祭では、新たに作品募集期間においてPRを実施。案内ポスターだけでなく昨年度の上位3賞を市内施設に掲示することでより効果的なPRの工夫を行った。また、小・中学生の部の作品募集でオンライン申込を導入し応募の促進を図った。
・美術展覧会においては、より人の目に留まる場所での広報を増やすなどの工夫や、昨年度に応募のあった学校への働きかけにより、特に若年層でも取り組みやすい洋画・書・グラフィックデザインの3部門で学生の出品者が70人増加した。
市民文化祭業務全体で参加者の裾野を広げるための工夫がなされており、それに実績が伴っていることを評価する。
今後も情報発信の工夫に加え、市や各所と連携しながら、より良い事業となるよう検討・改善し、長い歴史のある市民文化祭をさらに盛り上げていただきたい。

,

●指定管理者評価委員会の意見

・オンデマンドや、オンライン等、今後もICTの拡大を推進していただきたい。文部科学省では、生涯学習の中で、リスキリングを重要視している。これらの状況を踏まえて、内容を考えていくことも必要ではないか。
・男女共同参画推進業務の相談機能において、外出が難しい方、メールではなかなかうまく伝えきれない方がいらっしゃると思うので、手法の一つとして、オンライン相談があると良い。
・市民自主講座について、9人や8人の申込で規程の人数に達せず講座が開講されていないのは、惜しい。もう少し弾力的にやれると良い。
・岐阜駅周辺に大学移転の話があるが、図書館と、生涯学習施設及び大学は、関連性が高く、密接に連携をしていくことが非常に大事である。市としても、近隣の生涯学習施設と連携を図っていくような準備を推進していただきたい。